

志木市ゼロカーボンシティ宣言

近年、温室効果ガスの増加により世界的な気温上昇による気候変動の影響は深刻な状況であり、経験したことのない集中豪雨や大型台風が発生し、生活環境を脅かしています。

2018年に公表されたIPCC(国際連合の気候変動に関する政府間パネル)では、世界の平均気温の上昇を1.5℃の水準に抑えるためには、二酸化炭素の排出量を2050年に実質ゼロにする必要があるとしています。

我が国でも、気候変動問題に関する国際的な枠組みであるパリ協定に定める目標の達成に向け、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を2020年10月に宣言しました。

このような背景の中、志木市においても地球温暖化という一刻の猶予もない課題に対し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの更なる推進が求められています。

このことから、志木市は、市民・事業者・市が一丸となり、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めていくことをここに宣言します。

2024年(令和6年)4月26日

志木市長 香川 武文